

YAMATO TAKESHI

×

NISHIYAMA YUMI

×

SATO KOICHI

×

SAKAMOTO JUNJI

||

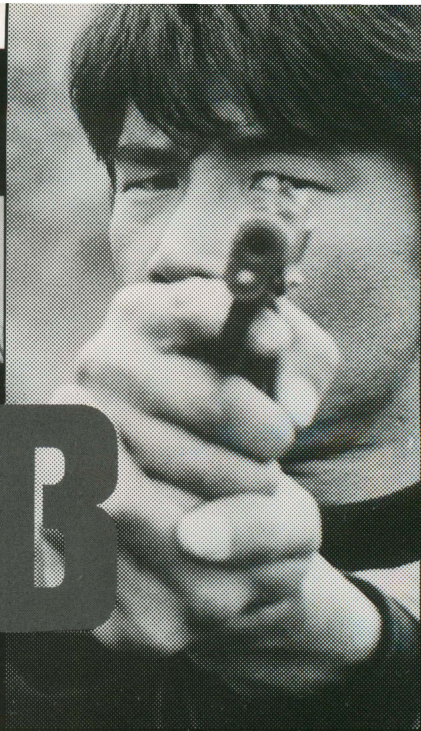
男は愛しながら壊れる



# トカペ

TOKAPEB





# TOKAREP

『どついたるねん』『鉄拳』『王手』の  
阪本順治監督+荒戸源次郎製作の名コンビが放つ待望の第4弾!

阪本順治監督と製作にあたる荒戸源次郎は、『どついたるねん』『鉄拳』『王手』でプロフェッショナルの“男たちの戦い”を描き、観客を魅了させた日本映画界の期待の担い手たちである。

『トカレフ』は、『王手』製作から2年、二人の間で脚本とキャスティングが念入りに練られた。監督はアクションをいままで撮ってきた中、フルサイズの肉体よりも、人の“顔”に色気と暴力性を見いだした。セリフではなく表情、視線を重視した演出にこだわり、前編に緊張感をみなぎらせた。映画の舞台も初めて西日本から東京近郊へと移し、“普通の男たち”が渡ってしまった運命の川の向こう側で繰り広げられる終わりなきバトルを描く。まさにすべてが初めて尽くしの阪本監督の期待の話題作である。

## 壊れてゆく男たちの運命を決める究極の選択“トカレフ”

息子の命を奪われ、自分をも死の淵に追いやった男への激しい憎悪から、復讐へと突き進む男・西海道夫（大和武士）。偶然手にした拳銃によって、欲望に火をつけ、それを追及する男・松村計（佐藤浩市）。そして、子供を失った悲しみの中、安らぎに走る道夫の妻・あや子（西山由海）。

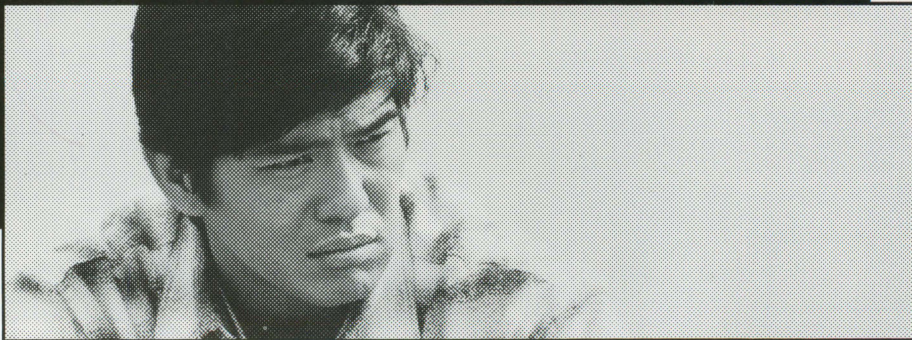
ありふれた日常のなかで、運命のいたずらから“トカレフ”を手にする二人の男。“トカレフ”が追いつめられた男たちの内なる魂を揺さぶり、眠っていた“衝動”を目覚めさせた。誰もが追いつめられ、究極の選択に迫られる。失ったものは限りなく大きく、得るべきものをなくした彼らがたどり着く先は……。

## 大和武士 vs 佐藤浩市 『トカレフ』を握った二人の熾烈な戦い

西海道夫を演じる大和武士は、元日本ミドル級チャンピオンで、ボクサー時代に『どついたるねん』『鉄拳』に出演。最近では、リザーブ友の会のCM出演で注目される。プロボクサーから役者へ転身後初めての映画出演、しかも主演への抜擢である。ボクシングで鍛え上げた肉体と精悍なマスク、その天賦の資質が大いに発揮されている。

対するの松村計には、若手実力派の佐藤浩市。脚本段階から監督とのキャラクター設定に加わり、冷静さと残酷さ、狂気を兼ね備えた難しい役どころを見事に演じる。

ヒロインあや子には、『微熱少年』『会社物語』の西山由海が扮し、揺れ動く女性の心理を細やかに演じている。



**3/5** (土) **愛憎体感**  
**初ロードショー**

特別鑑賞券1400円絶賛発売中 当日料金(税込)  
最1800円の迄

銀座線京橋駅下車・2番出口上る  
**銀座テアトル西友**  
03(3535)6000

新宿東口・伊勢丹新館となり  
**テアトル新宿**  
03(3352)1846

2館共通	日・祝	10:40	平日	12:45	2:50	4:55	7:00
------	-----	-------	----	-------	------	------	------